

知事に2つの切実な要求の実現を求めています…

いのちと暮らしを守る県政署名に

1 中学校卒業までの医療費無料化 通院も入院も

現在、就学前(小学校入学前)まで無料の県制度を拡充する

～「せめて義務教育の間はお金の心配なくお医者さんにかかれるようにしてほしい」(学校保険医の声)～

- ◎ 子どもたちの健やかな成長はお父さん、お母さんにとってもおじいさん、おばあさんにとっても一番の願いです。
- ◎ 子どもの貧困が広がっています。暮らしがたいへんだからこそ、子育て応援、負担軽減が求められています。

◎ 中学卒業までの医療費無料化は全国では半分以上の自治体を実施している。県内では甲賀市、米原市、高島市、豊郷町、多賀町が通院・入院ともに無料。

◎ 現在県負担は10億円。小3まで拡充すれば7億円が必要。中3まで広げても倍の14億円いりません。大きくなるほど、体も強くなり、病気は少なくなるのですから…

◎ 豊郷町は高校卒業まで無料です。自分の町のお金を持ち出して県よりすすんだ制度にしています。早期治療で医療費全体が抑えられています。

県が中学校まで無料に踏み出せば、市町格差はなくなり、県制度よりすすんだ自治体の持ち出し分を他の暮らしを守る施策にまわせます。

2 国民健康保険料、1人1万円引き下げ

～国民健康保険は最も身近な住民の命と暮らしを守る保険制度です～

- ◎ 県内でも32万人(2013年度末)が加入しており、会社などの社会保険に加入している人もいずれは加入します。
- ◎ 高齢化で社会保障費は増え、国保料が引き上げられています。貧困と格差は広がり、高い国保料が払えず保険証の取り上げが起きています。医者にもかかれず、命と健康が脅かされているのです。国保財政の悪化や国保の全県一元化などでさらに保険料引き上げがねらわれています。悪循環を断ち切るためにも県の出番です。



年間5,000億円の県予算、300億円のためこみ金。お金の使い方を県民本位にあらためればできます。県政の第一の仕事は県民の命と暮らしを守ること、2つの切実な願いを署名に託してください。

日本共産党滋賀県委員会 Tel.077-522-8210 Fax 077-522-8282

ご協力下さる！